

ハイデガーと 現代哲学の 始まり

2015年10月17日 (土)
東京ドイツ文化センター1Fホール

現代哲学につねに深刻な影響を与え続けるハイデガー。その独自の哲学はいかにして誕生したのか。この謎の究明に挑むべく刊行された『始まりのハイデガー』(晃洋書房、2015年)では、気鋭の研究者が集い、同時代の哲学・思想との対決のなかで自らの哲学を鍛え上げてゆく、若きハイデガーのみずみずしい思考の軌跡が描き出されました。この本邦初の試みを受け、本シンポジウムでは、ハイデガーの哲学の「始まり」と20世紀初頭の現代哲学の「始まり」について、徹底討論を交わします。執筆陣に加えてゲストコメンテーターを招き、現代における哲学の新たな「始まり」へと誘う、刺激溢れる一夜。ぜひご参加ください。

DER
ANFANG
IM
DENKEN
HEIDEGGERS
UND
DES
FRÜHEN
20. JAHRHUNDERTS

プログラム

16:30-16:40 開会の挨拶

16:40-17:55 第一部 ハイデガーと現代のルネッサンス
——古代哲学と中世哲学

セッション①村井則夫(明星大学)

セッション②森秀樹(兵庫教育大学)

セッション③神崎繁(専修大学)

司会: 齋藤元紀(高千穂大学)

17:55-18:10 休憩

18:10-19:25 第二部 ハイデガーと現代哲学の黎明
——新カント学派・実存哲学・解釈学

セッション①中山剛史(玉川大学)

セッション②渡邊和典(学習院大学)

セッション③大橋容一郎(上智大学)

司会: 池田喬(明治大学)

19:25-19:30 休憩

19:30-20:45 第三部 総合討議
コメンテーター 金成祐人(慶應義塾大学)

参加無料、要参加登録

問い合わせ: 03-3584-3203 yoshitsugu@tokyo.goethe.org

ハイデガー研究会・日本ヤスパース協会共催
協力 東京ドイツ文化センター
後援 晃洋書房